

登壇者のご紹介

取締役 常務執行役員

いわさき たまたろう
岩崎 多摩太郎



執行担当

- 環境経営企画
- 資材
- 大阪工場

取締役 上席執行役員

なかむら ひろし
中村 弘



執行担当

- 人事
- 総務
- 経理
- DX推進室



証券コード：4027



個人投資家向け説明会

「 テイカが歩んできた道と、
これからの可能性 」

2026年5月25日

本資料における業績予想および将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご了承ください。

今回のポイント！

1

なぜ、いま
テイカが魅力なのか

¥1,223

2

なぜ、テイカが
注目されているのか

3

テイカは安心して
保有できるのか

¥2,006

*2026年1月1日からの株価推移

テイカ株式会社は、

100年以上

続く老舗企業



初代社長
白石基次郎



白石 基次郎
中野 寛
竹野 寛
平田 寛
後藤 寛
西村 寛
佐々木 寛
伊藤 寛
中野 寛
平田 寛
後藤 寛

当社事業の技術進化と製造工場

戦前・戦後 1919-1941
帝国人造肥料 (株)

高度経済成長 1941-1989
帝国化工 (株)

バブルと低成長 1989-2010
テイカ (株)

デジタル化と人口減少 2010-

大阪工場 (1919年～)

1919

過リン酸肥料



硫酸



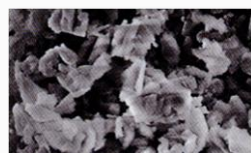
1961

界面活性剤



1981

防錆顔料



1999

導電性
高分子薬剤



<海外工場>

2001年 TAYCA (Thailand) co.,Ltd
2014年 TAYCA (VIETNAM) co.,LTD

<子会社化>

TRS Technologies, Inc

2018

圧電単結晶



1996

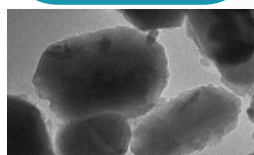
圧電
セラミックス



岡山工場 (1942年～) 熊山工場 (2006年～) 熊山工場長船分工場 (1995年～)

1951

酸化チタン



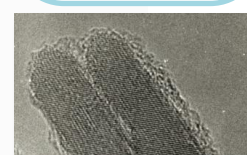
1983

微粒子
酸化チタン



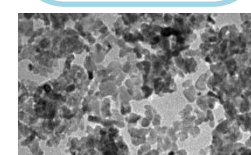
1996

表面処理製品



2003

微粒子
酸化亜鉛



セグメント別 関係会社

開示セグメント	機能性材料事業		電子材料・化成品材料事業			その他
サブセグメント	汎用製品	微粒子製品	界面活性剤	圧電材料	導電性高分子	
セグメント詳細	<ul style="list-style-type: none"> 酸化チタン 赤外線遮蔽 光触媒 Etc.	<ul style="list-style-type: none"> 微粒子酸化チタン 微粒子酸化亜鉛 表面処理材料 Etc.	<ul style="list-style-type: none"> スルホン酸塩 硫酸エステル塩 芳香族スルホン酸 Etc.	<ul style="list-style-type: none"> 圧電セラミックス 圧電単結晶 Etc.	<ul style="list-style-type: none"> 各種ドーパント モノマー 分散体 Etc.	<ul style="list-style-type: none"> エンジニアリング 荷役、梱包 倉庫 Etc.
国内関係会社	テイカ株式会社					テイカ倉庫株式会社
	テイカ商事株式会社					テイカM&M株式会社 (テイカ倉庫子会社)
海外関係会社	ジャパンセリサイト株式会社 (50%)			TFT株式会社 ※1		
			TAYCA (Thailand) Co., Ltd. (86%)	TRS Technologies, Inc.		
			TAYCA (VIETNAM) CO.,LTD.			

所在地別 関係会社

製造資本

製造物流拠点数
国内:5カ所
海外:3カ所



熊山工場
岡山研究所、熊山分室
● 表面処理製品、
機能性微粒子製品



熊山工場 長船分工場
● 表面処理製品



東京支店
東京クリエーションラボラトリー
ジャパンセリサイト株式会社



TAYCA (Thailand) Co., Ltd. (タイ)
● 界面活性剤



テイカ倉庫株式会社
テイカM&M株式会社



TRS Technologies, Inc.
(米国)
● 圧電材料



TAYCA (VIETNAM) CO., LTD. (ベトナム)
● 界面活性剤



岡山工場/岡山研究所
● 酸化チタン、機能性微粒子製品等



大阪工場/大阪研究所
電子材料部 TFT株式会社
● 界面活性剤、硫酸、防錆顔料、
導電性高分子薬剤、圧電材料等



本社
テイカ商事株式会社

機能性材料事業：主要製品の概要

汎用用途の酸化チタン

酸化チタン

優れた白色顔料として、塗料、インキ、プラスチック、化学繊維、製紙など白いものはもちろん、色のついたもののほとんどに使用されています。

また、白色度、着色力、安全性、化学的安定性など優れた性質をもち、社会のあらゆる分野で役立っています。



赤外線遮蔽酸化チタン

赤外線領域の散乱効果を最大化する粒子径に設計しており、太陽光中の近赤外線を遮蔽し、温度上昇を防ぐ効果がある。ヒートアイランド現象低減に役立っている。



光触媒用酸化チタン

光触媒用酸化チタンは、紫外線や水・酸素などのクリーンなエネルギーによって発現する酸化チタンの酸化力を利用し、有害な有機物を分解・除去します。これら光触媒効果を活用した、汚れ防止効果を付与した外壁や脱臭効果を付与したインテリア等が実用化されています。



機能性用途の微粒子製品

微粒子酸化チタン

微粒子酸化チタンは、一般の白色顔料用酸化チタンに比べてはるかに小さい10~50nmの粒子径を有する超微粒子、可視光線部における光透過性と紫外部での光遮蔽性が大きい等の特徴ある性質を備えており、しみの原因となる紫外線UVBの遮蔽性に優れています。



微粒子酸化亜鉛

微粒子酸化亜鉛は、微粒子酸化チタン同様、優れた紫外線遮蔽能力を持つ機能性粉体です。微粒子酸化チタンと比較して、可視部における透明性が高く、しわ、たるみの原因となる紫外線UVAの遮蔽性に優れています。

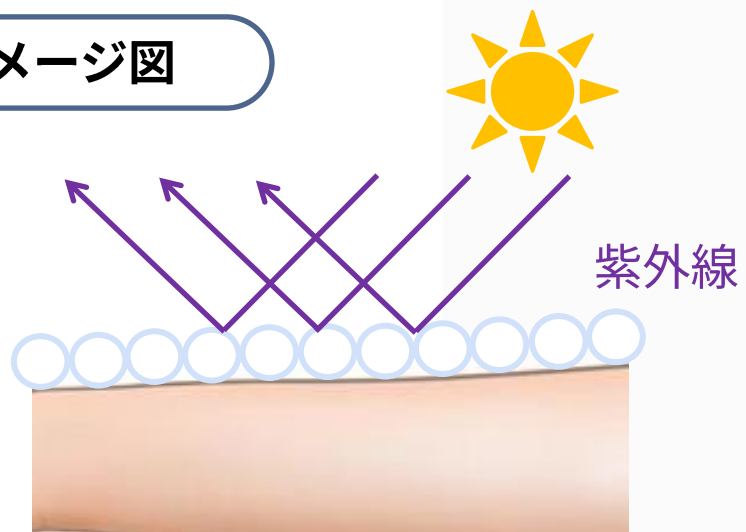
表面処理製品

微粒子酸化チタンや微粒子酸化亜鉛等の無機粉体が持つ優れた特徴を最終製品で発揮できるよう、各種有機化合物で表面処理した粉体製品。表面処理を行うことにより、粉体表面が親水性や親油性に改質され、耐光性や分散性などの特長を付与できます。化粧品原料、プリンターのトナー用外添剤をはじめ幅広い分野で使用されています。

機能性微粒子製品の働きと特徴

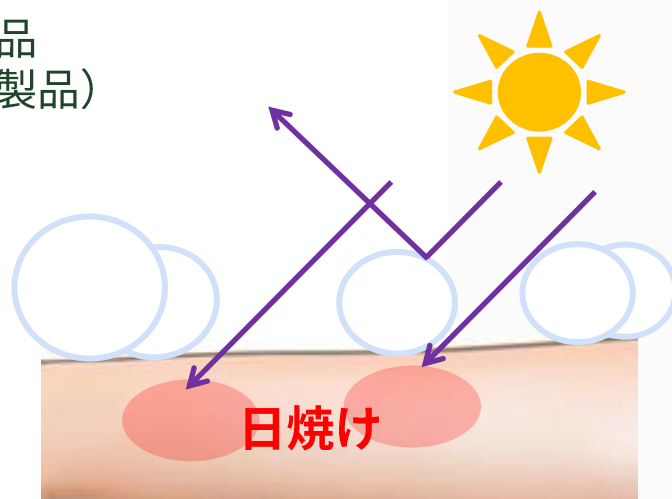
日焼けの原因イメージ図

ティカ品



○ : 日焼け止め化粧品
(機能性微粒子製品)

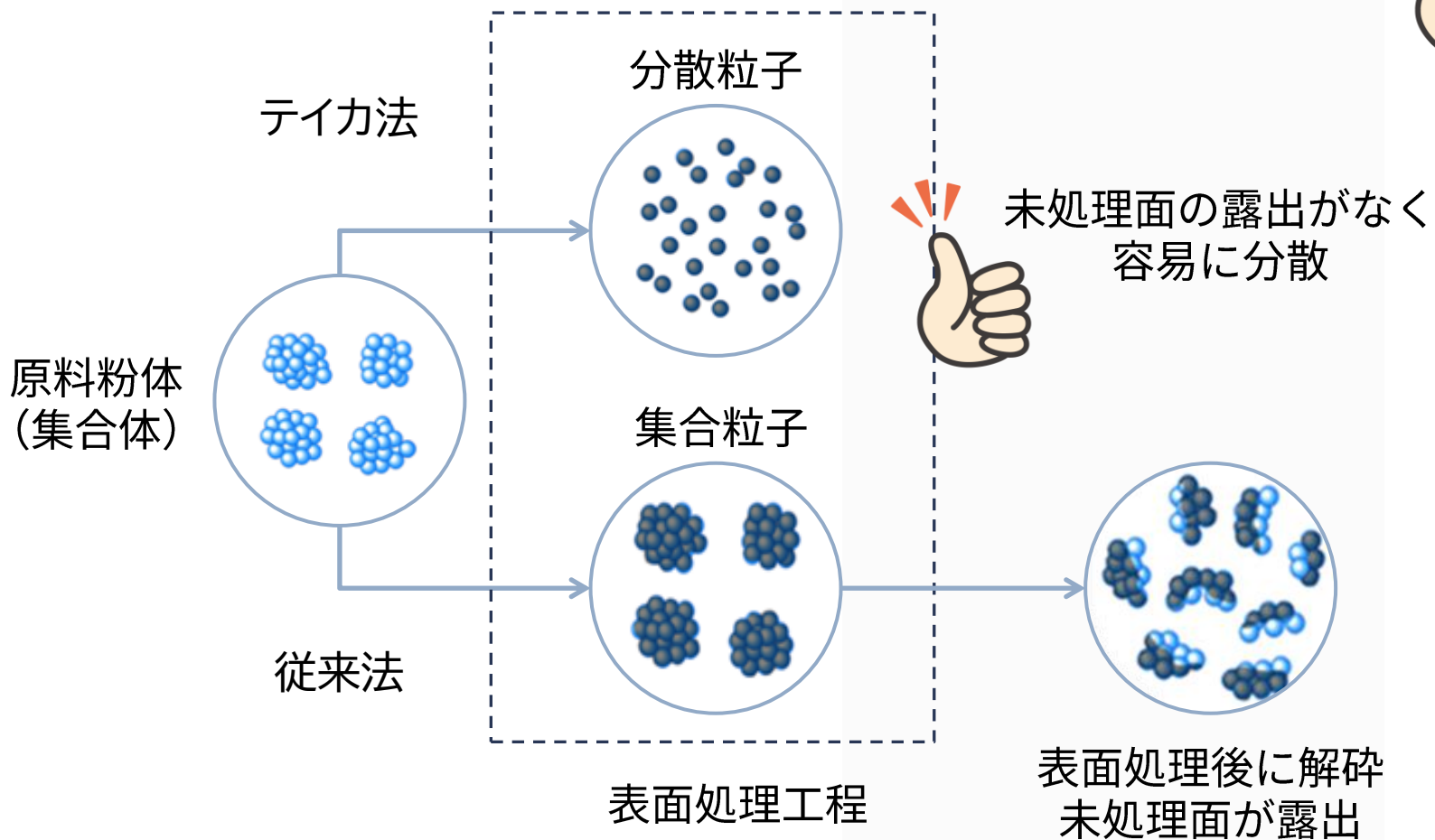
通常品



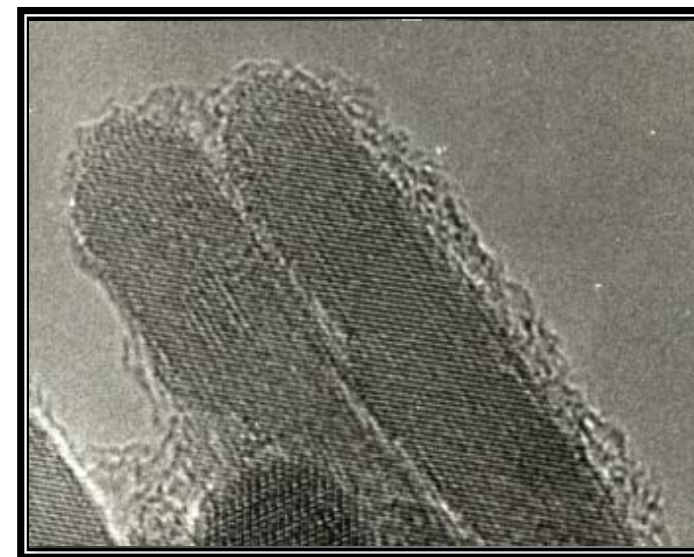
- 粒子径が非常に小さい
- 粒子サイズが揃っている
- 当社独自の表面処理技術により、分散性が良い

機能性微粒子製品の製造技術と当社の強み

当社の表面処理技術



高度な表面処理技術により
顧客に合わせた表面処理が可能



表面処理をした酸化チタン粒子

グローバルに使われている機能性微粒子製品

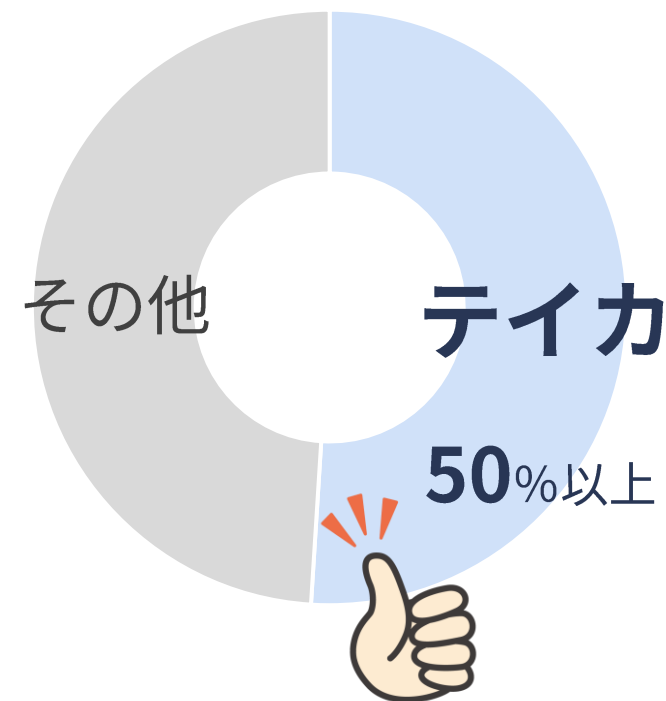
主な輸出国



機能性微粒子製品における
約66%の売上高が海外輸出



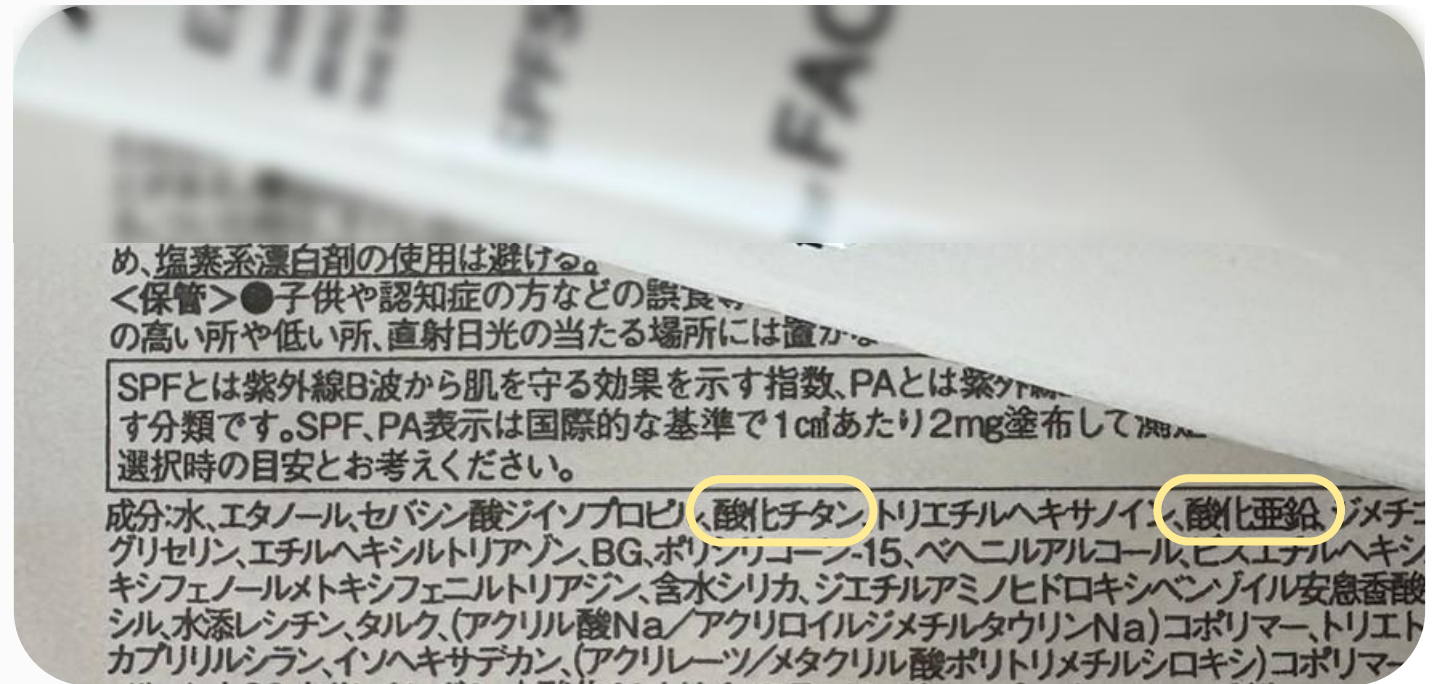
機能性微粒子製品
グローバルシェア



グローバルニッチトップ企業
100選に選定されました！



テイカの原料を探してみよう！



日焼け止め成分に

「酸化チタン・酸化亜鉛」

の表示を見つけてください！



電子材料・化成品事業：主要製品の概要

・化成品

界面活性剤

当社の界面活性剤は、水と油の両方になじみやすい性質をもち、洗浄、乳化、分散、可溶化などの働きを利用して、洗剤、シャンプーなど生活用品から工業分野にまで広く使用されています。



無公害防錆顔料

当社は、リン酸塩の研究を長年続けた結果、世界に先駆けてリン酸塩Kシリーズ、無公害型防錆顔料の量産技術を確認し工業化したしました。地球環境にやさしい技術として、防錆剤、硬化剤、吸着剤など多用途に利用され高い評価を得ています。



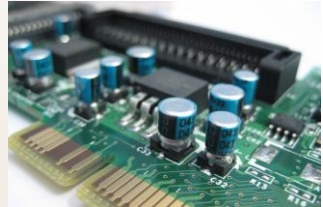
硫酸

硫酸は医薬品、化学肥料といった化学品産業から金属、鉄鋼といった重工業まであらゆる分野での基礎原料となっています。当社では、創立当初より硫酸の製造を開始。この硫酸を基礎原料に酸化チタン、界面活性剤の製造に着手してきました。

・電子材料

導電性高分子薬剤

添加物を加えることで、プラスチックのような電気が流れない絶縁体を電気が流れる「導電体」に変えます。当社はいち早くこの性質に着目し、当社固有技術と融合させ、様々な要求特性に対応した導電性高分子薬剤を開発。電子機器に欠かせないコンデンサに使用されています。



・圧電材料

圧電材料

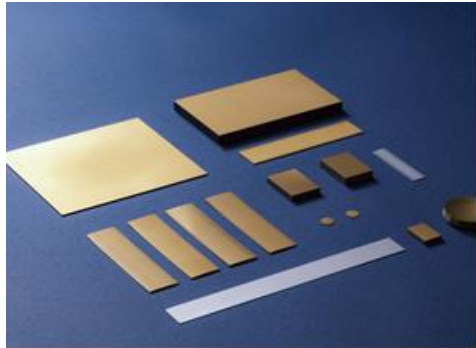
圧電材料は、電圧を加えることで、伸縮を繰り返し振動する現象を利用し超音波を発生させることができます。エコー検査に使われる医療用超音波診断機はこの機能を利用しています。発生した超音波から画像を映し出すことで、エックス線などは使わず、体の中を安全に調べることができますので妊婦検診や心臓・腹部等の診断で多く使われています。



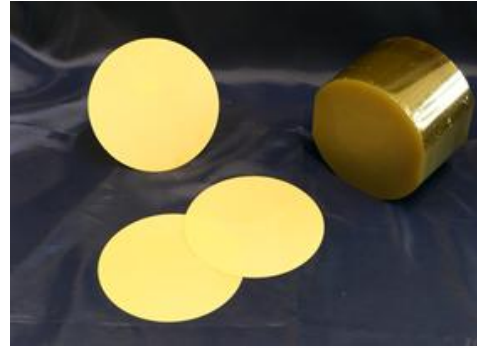
圧電材料の種類と特性

圧電材料の種類

圧電セラミックス材料



圧電単結晶材料



どちらの製品も
製造・販売可能

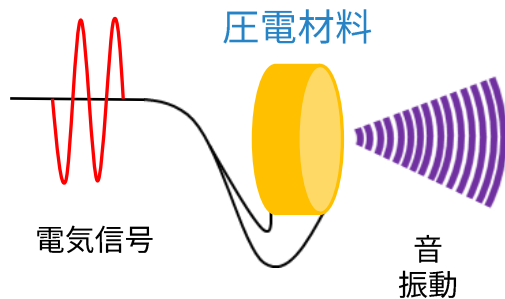


エックス線などを使わず、
体の中を安全に
調べることができる

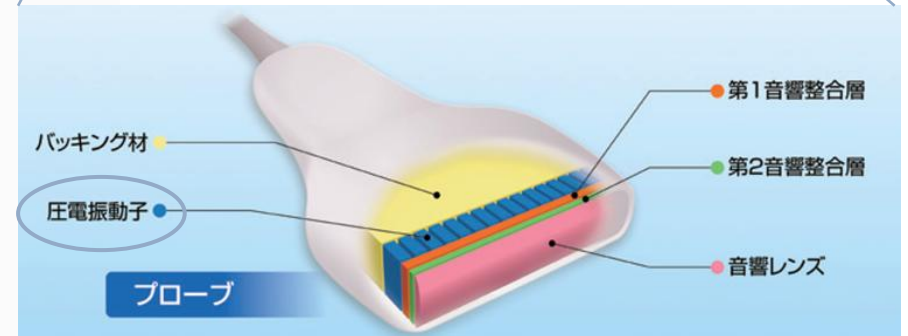
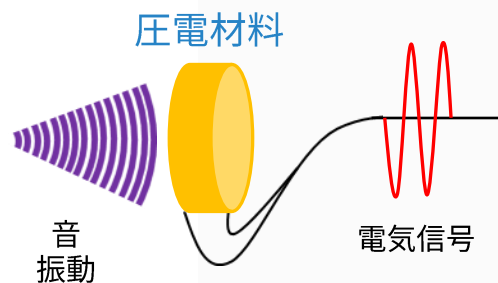


圧電材料の特性

電気信号を加えて振動・音を出す



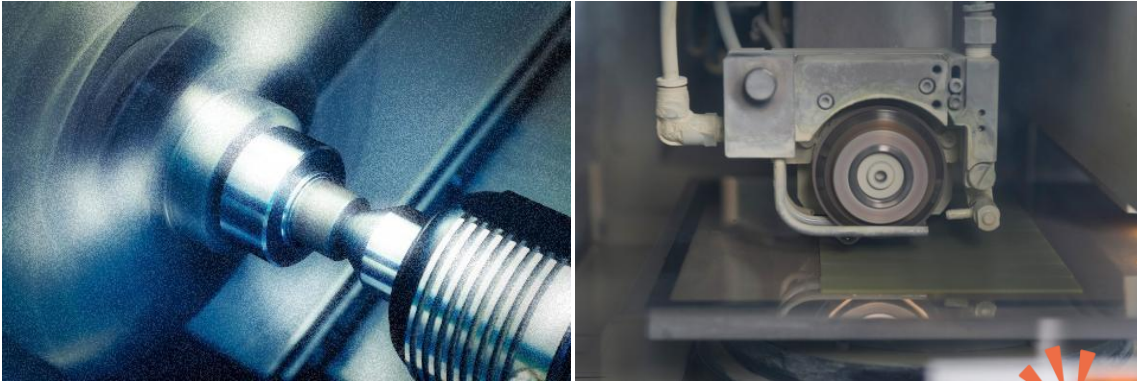
振動・音を電気信号に変える



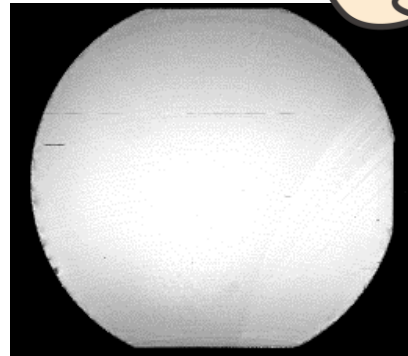
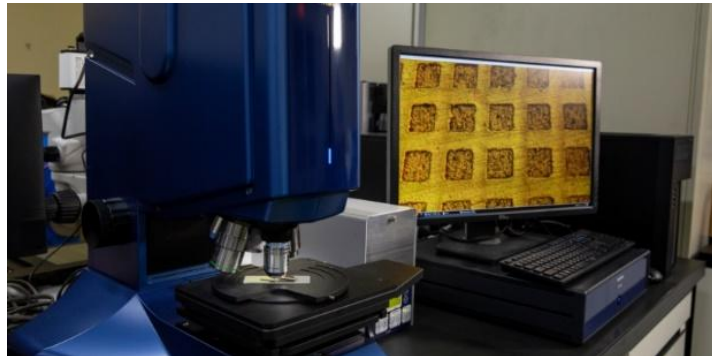
圧電材料の技術と当社の強み

当社の製品技術

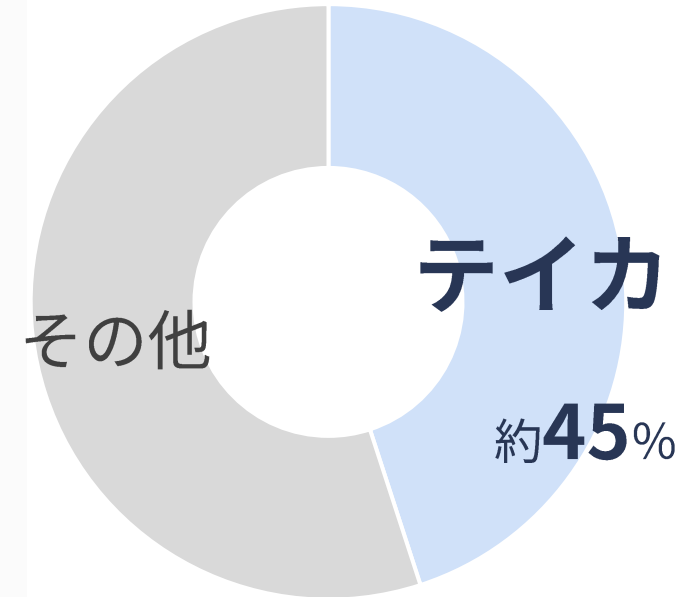
- ・ ミクロンオーダーまで実現できる超微細加工



- ・ 独自性の高いコンポジット/圧電単結晶のご提供



圧電材料のグローバルシェア



グローバルニッチトップ企業
100選に選定されました！

導電性高分子薬剤について

導電性高分子とは？

導電性高分子は、

「電気を通すことができるプラスチック」です！



当社の導電性高分子

信頼性
高耐久

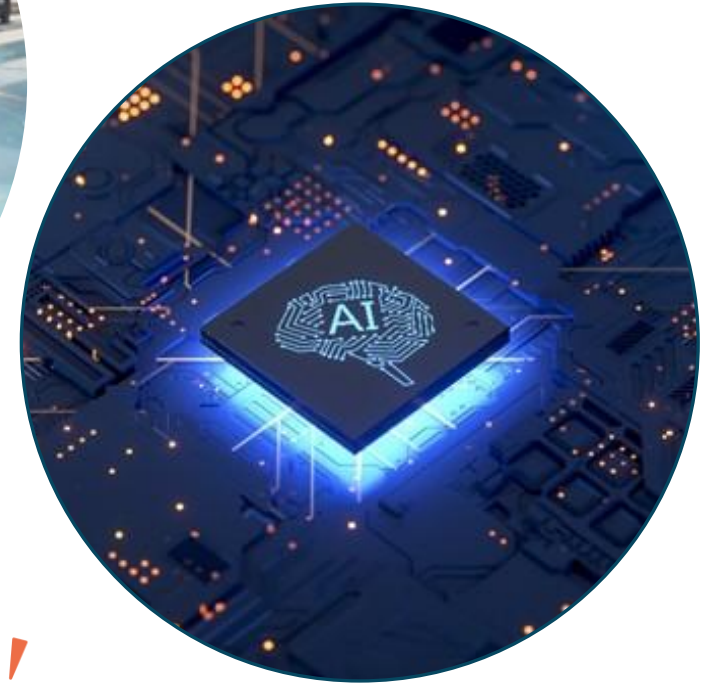
材料技術

分散技術

電氣化が進む自動車



AIサーバー



これからの先端技術に
当社製品が採用



近年の事業投資

「需要に対応すべく増産対応」
「成長分野の工場新設」



2026年

大阪工場 導電性高分子薬剤の生産設備増強

2025年7月

熊山工場 微粒子製品生産工場 新設

2024年12月

岡山工場 LNG設備の導入

2022年 大阪工場 圧電単結晶材料 量産工場の新設

2020年 岡山工場（微粒子製品 生産設備）増設

2019年 熊山第三工場（微粒子製品 生産設備）新設

2018年。TRSテクノロジー（米国）の子会社化



経営理念

テイカグループは、
化学の力で感動の素を創り、
世界に夢と笑顔を届けます。

コーポレートスローガン

まじめに感動素材

私たちテイカが100年以上の歴史の中で
築き上げてきたモノづくりの姿勢、それは誠実さです。
お客様と真摯に向き合い、妥協なく試行錯誤を行う中から
よりよいソリューションを実現していくことこそ
テイカのアイデンティティ。

テイカは、社会の感動の“素”になることを目指します

中期経営計画 MOVING-10 STAGE2 概要



事業戦略

- ◆ 営業利益率の回復
- ◆ 競争優位事業への積極投資と増強
- ◆ 事業の選択と集中
- ◆ 新規事業の実現
- ◆ プロセス改善と生産性向上

財務・非財務戦略

- ◆ 資本効率経営とテイカブランドの確立
- ◆ 人的資本拡充
- ◆ CO2の削減

STAGE2における具体的な方針

- ◆ ライフサイエンス分野
拡大：トップメーカーとしての市場席卷
- ◆ 環境エネルギー分野
成長と拡大：導電性高分子薬剤事業の収益化
- ◆ ケミカル分野
効率化：コスト削減と運営体制再構築
- ◆ インダストリアル分野
進化：シナジー追求とコア事業化
- ◆ 新規事業
創出：新事業の育成と事業

STAGE2における具体的な方針

- ◆ **資本効率経営**
株主資本コストを上回るROEの向上
全社KPI運営とキャピタルアロケーション導入
株主還元充実と株主・投資家との対話活性化
- ◆ **人的資本拡充**
情熱人材創出とエンゲージメント向上
- ◆ **CO2の削減**
CO2排出削減計画（ロードマップ）の遂行

	STAGE2	
	FY2026【161期】	
	計画	FY2023比
売上高	680	+150
営業利益	60	+37
営業利益率	9.0%	+5.0%
ROE	7.0%	+4.0%
EBITDA	105	+50

中期経営計画 MOVING-10 STAGE2 総括と課題

事業戦略

営業利益率の回復
競争優位事業への積極投資と増強
事業の選択と集中
新規事業の実現
プロセス改善と生産性向上

総括

営業利益率 4% (2026年3月期・前年比▲2%)
導電性高分子薬剤の生産体制能力増強 (FY2023比 4倍以上)
機能性材料事業の低迷により構造改革は途上
新事業テーマ創出も事業化に課題
全社改善活動開始も浸透は道半ば

財務・非財務戦略

資本効率経営とテイカブランドの確立
人的資本拡充
CO2の削減

総括

ROEは、低迷・資本政策/IR戦略は検討段階
エンゲージメントサーベイ結果上昇 (61点→65点) も社内意識改革途上
SBT準拠の排出量目標策定・CDP: B/B・Eco Vadis: 65点

成長事業の課題 【電子材料・化成品】

【界面活性剤】
本邦、タイ、ベトナム連携による
アセアン市場での販路拡大と環境
規制対応

【圧電材料】
日米製造体制確立による医療用途
での圧倒的地位確立と他用途への
展開

【導電性高分子】
車載用途における更なる販売増強
と次世代コンデンサ用途向け開発

基盤事業の課題 【機能性材料】

【酸化チタン】
競争激化に耐え得る抜本的なコス
ト低減と事業構造改革

【化粧品原料】
マーケティング強化と新製品開
発・販売推進による安定的な営業
CF創出

新規事業の課題

協業 & 共創による独自のコア技術
深化と試作・評価・量産のスピー
ドアップ

M & Aや事業提携、VC出資の戦略
的な活用と組織強靱化

資本政策の課題

低水準な資本効率改善
【ROEを向上し、PBRを改善】

潤沢な自己資本の有効活用積極化
【成長投資・人材/インフラ投
資・株主還元】

運転資本の適正運営
【在庫圧縮、回収短縮】

サステナビリティの課題

人的資本経営の深化
【情熱人材の創出と育成・働きが
いの創出】

環境規制への準拠、脱炭素対応、
およびSBT認証

中期経営計画 MOVING-10 STAGE3 基本方針

基本方針

- 営業利益の拡大
- 新規事業の実現
- 資本効率化
- 事業投資の積極化
- 経営基盤強靱化

事業戦略

【重点分野】

- 電子材料事業 : 売上高 2倍以上 (2025年比)
- 医療・圧電関連事業 : 売上高 60億円以上
- 新規事業開発 : 売上高 10億円以上

【収益性改善】

- 機能性材料事業 : 構造改革・営業CF創出

➤ KPI運営による進捗管理

企業価値の向上
ROE 8%以上

三位一体経営

資本政策

【投資】

- 成長事業投資 : 150億円以上
- 戦略投資 (含むM&A) の積極活用

【株主還元】

- DOE : 3%以上 または
配当性向100%のいずれか高い方を基準
- 自社株購入 : 100億円以上 (FY2026~FY2029)

➤ KPI運営による進捗管理

経営基盤強靱化

【業務改革】

- 在庫回転期間の短縮
- 回収条件適正化

【サステナビリティ】

- 戦略人材登用と人材投資強化
- 基幹システム刷新による効率化
- GHG排出量削減と外部評価向上

➤ KPI運営による進捗管理

中長期経営計画 MOVING-10 STAGE3 連結業績推移

- 当社を取り巻く急速な市場環境変化を踏まえ、成長と資本効率を両立するため、新中計「MOVING-10 STAGE3 (FY2026-FY2029)」を策定 (MOVING-10 STAGE2は前倒しで終結)
- 新中計では成長事業を重点拡大し、資本政策を刷新。FY2029 ROE 8%以上を計画

	MOVING-10 STAGE2		MOVING-10 STAGE3			
	FY2024	FY2025	FY2026		FY2029	
	実績 (億円)	実績 (億円)	計画 (億円)	FY2025比	計画 (億円)	FY2025比
売上高	557	574	595	21	590	16
営業利益	35	22	25	3	45	23
営業利益率	6%	4%	4%	-	8%	4P
ROE	4%	△1%	3%	4P	8%	9P
EBITDA	67	61	63	2	73	12

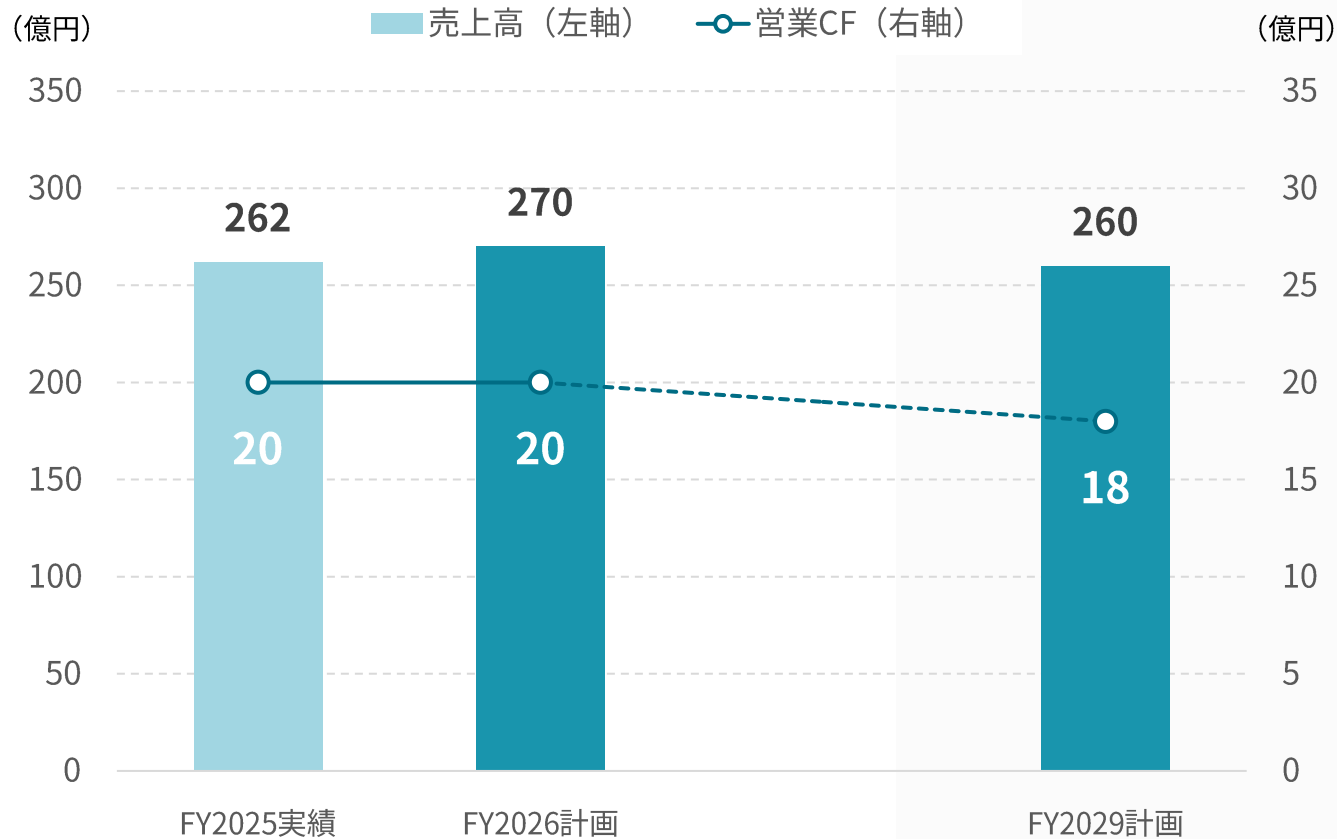
新セグメント別 関係会社

開示セグメント	機能性材料事業		電子材料・化成品材料事業		医療関連事業	その他
サブセグメント	汎用製品	微粒子製品	界面活性剤	導電性高分子	圧電材料	
セグメント詳細	<ul style="list-style-type: none"> 酸化チタン 赤外線遮蔽 光触媒 Etc.	<ul style="list-style-type: none"> 微粒子酸化チタン 微粒子酸化亜鉛 表面処理材料 Etc.	<ul style="list-style-type: none"> テイカポール テイカパワー テイカトックス Etc.	<ul style="list-style-type: none"> 各種ドーパント モノマー 分散体 Etc.	<ul style="list-style-type: none"> 圧電セラミックス 圧電単結晶 Etc.	<ul style="list-style-type: none"> エンジニアリング 荷役、梱包 倉庫 Etc.
国内関係会社	テイカ株式会社					テイカ倉庫株式会社
	テイカ商事株式会社					テイカM&M株式会社 (テイカ倉庫子会社)
海外関係会社	ジャパンセリサイト株式会社 (50%)					
			TAYCA (Thailand) Co., Ltd. (86%)		TRS Technologies, Inc.	
			TAYCA (VIETNAM) CO.,LTD.			

中長期経営計画 MOVING-10 STAGE3 機能性材料事業

構造改革実施による持続的な営業CF創出

- ・汎用酸化チタンでは、事業構造改革による安定化を図る
- ・化粧品原料では、海外販売拡大と新商品投入、及びコストの抜本的圧縮

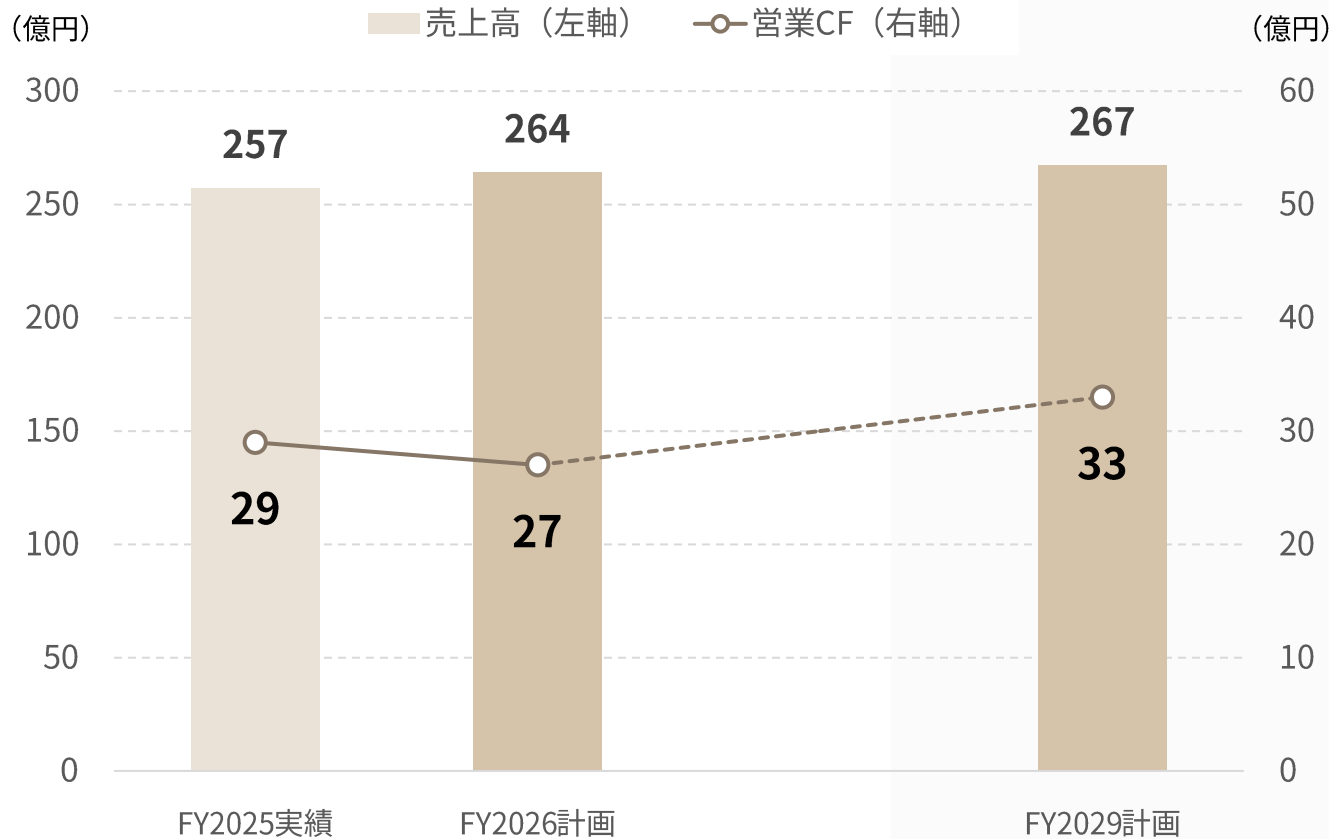


- ① 製造プロセス改善
- ② 在庫運営精緻化
- ③ 製品ラインナップの最適化
- ④ 重要顧客へのリソース集中

持続的な営業CF創出

中長期経営計画 MOVING-10 STAGE3 電子材料・化成品事業

- ・ 導電性高分子薬剤では、独自技術力開発と顧客の課題解決提案を強化
- ・ 更なる高付加価値分野への進出

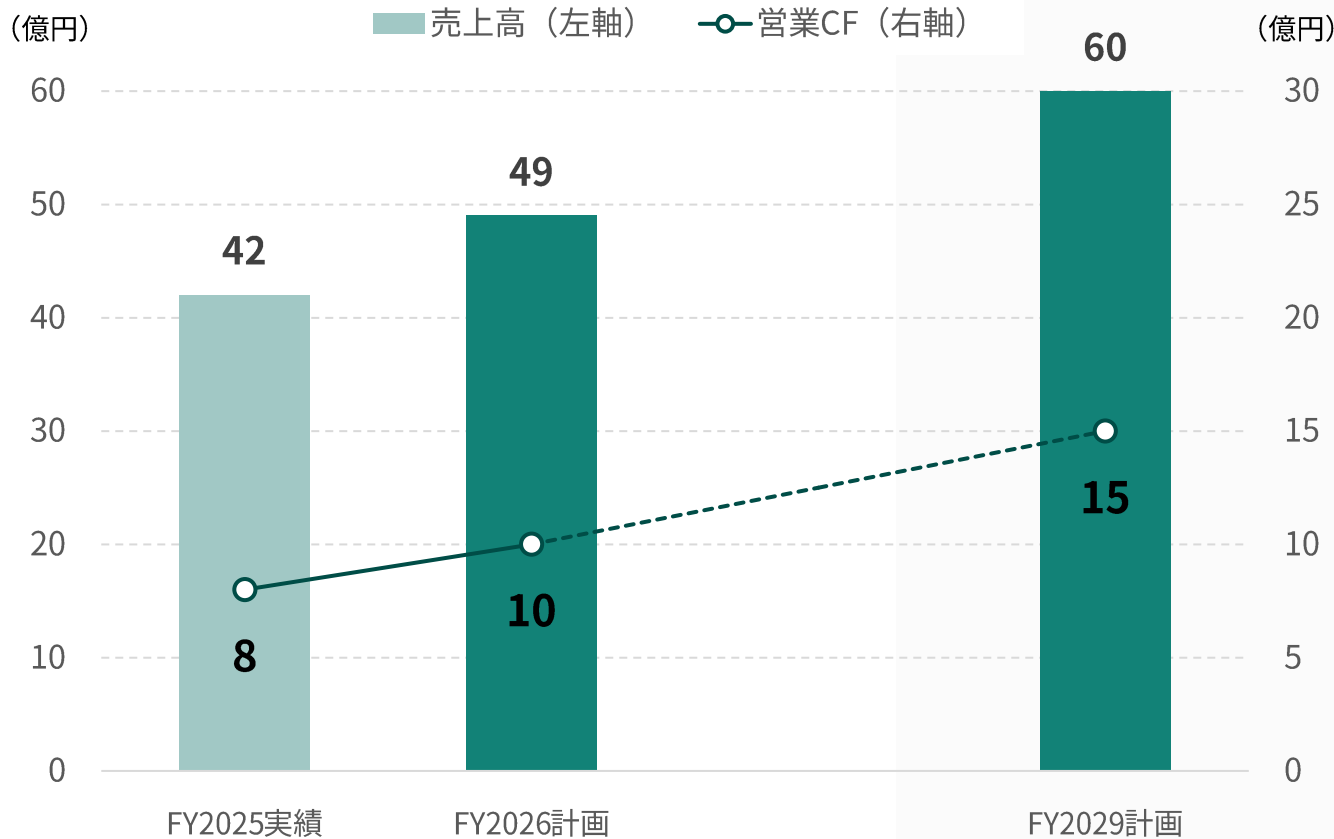


更なる高付加価値分野

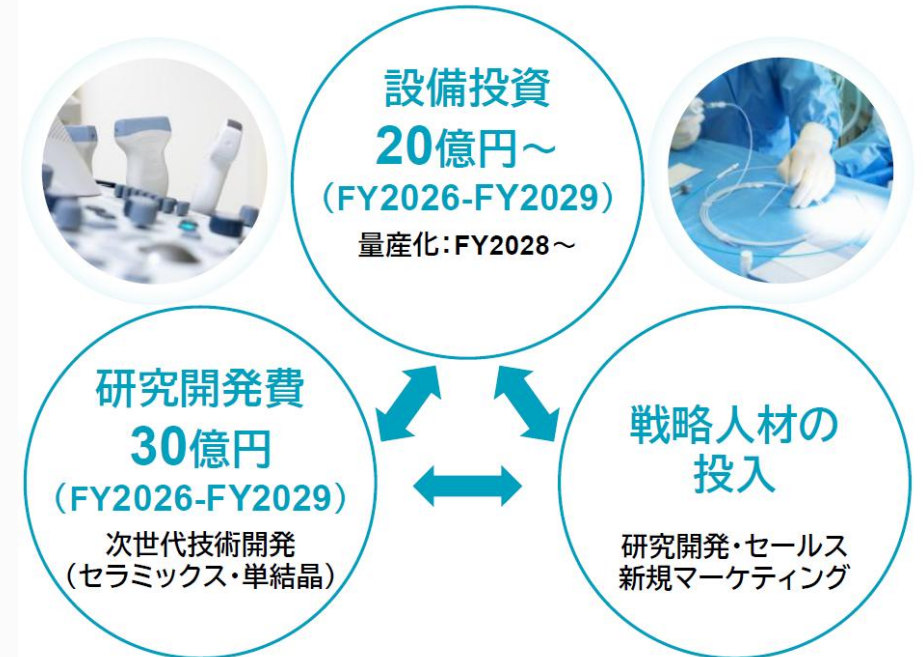
開発素材	用途	~FY2025
チタニアゾル	車載用ディスプレイ・映像・メガネ等	採用決定済・量産検討
次世代素材	半導体・AI/インフラ関連他	テーマ創出・顧客提案

中長期経営計画 MOVING-10 STAGE3 医療・圧電関連事業

- ・ 成長投資の拡大と戦略人材投入により、日米2拠点での販売を拡大
- ・ 日米2拠点製造体制を駆使し、需要拡大の期待できる重点顧客への集中的なアプローチを実施
- ・ 単結晶、セラミックス技術の高度化により、新用途の探索、川下展開から市場参入を実施



成長加速に向けた投資



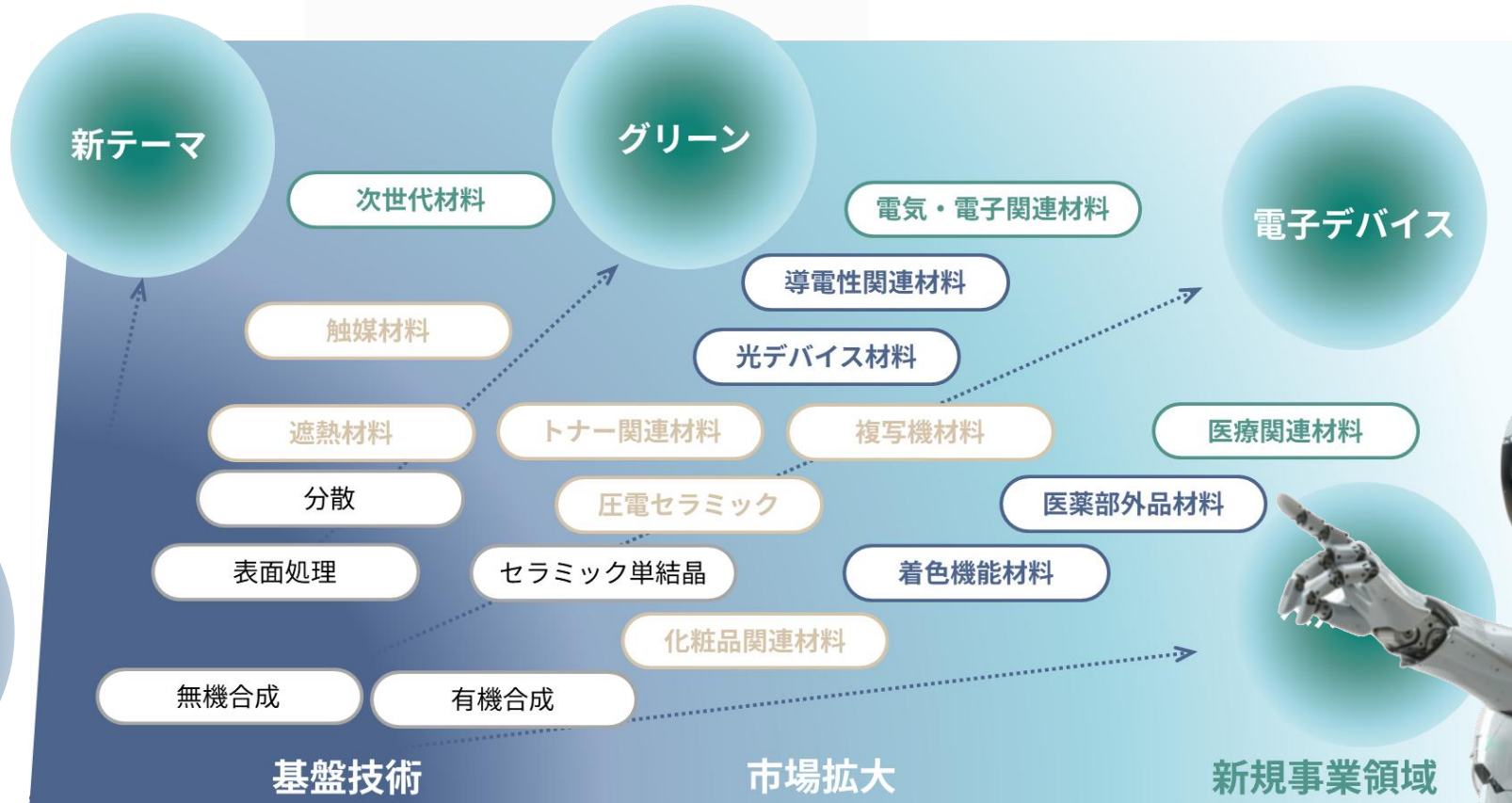
新規事業開発

- 投資 : ターゲット分野の事業化に向けた50億円以上の新規事業開発投資枠設定
- 協業&共創 : 新規事業への進出【M&A・事業提携・JV設立・VC投資積極化】
- 組織強化 : 組織再編による事業開発スピード迅速化と戦略人材投入

新事業領域

ロボティクス
XR (VR・AR・MR)
バイオテクノロジー

FY2029 売上高
10億円以上



資本コスト経営

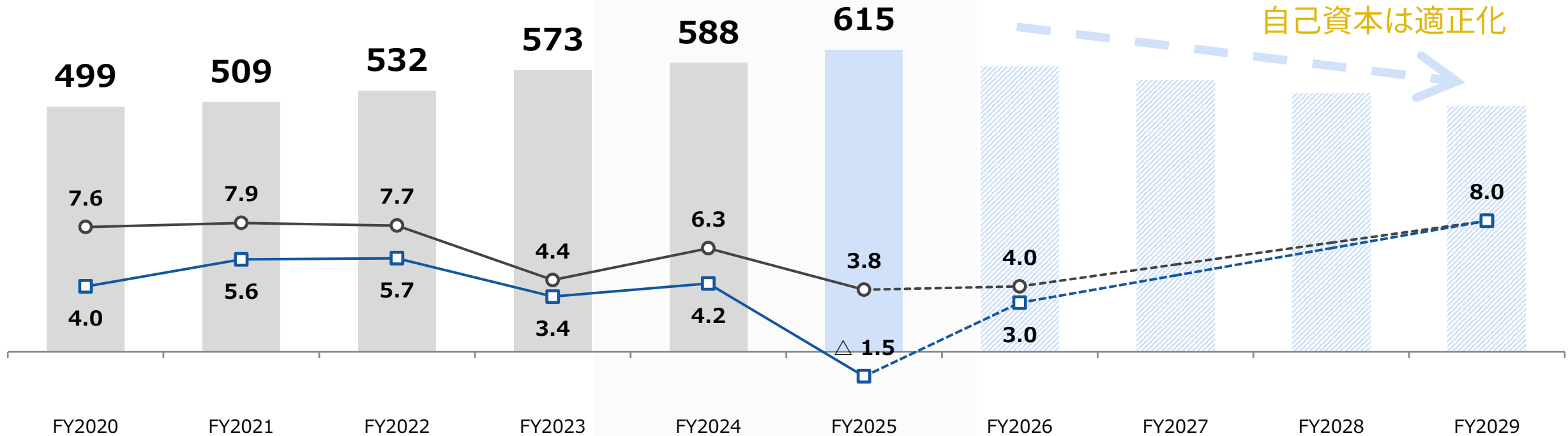
基本方針

- 資本コスト経営の確立
 - ・ 事業戦略遂行による稼ぐ力の拡充
 - ・ 資本効率化運営の実施
- 成長余力を残す財務健全性の確保
- 余剰資本の活用による株主還元積極化
- PBR向上のためのIR活動強化
【早期のPBR1.0倍以上達成】

- 成長分野や人的資本・システム投資による資本活用活性化
- 在庫回転期間短縮（現状1か月）
- 債権債務の回転期間適正化
- 政策保有株の縮減
- 有利子負債活用と高水準の自己資本比率適正化

■ 自己資本 ○ 営業利益率 □ ROE

(億円)



キャピタル・アロケーション

営業CF捻出と有利子負債活用により、戦略投資・株主還元を強化

- 運転資本の適正化（在庫回転率上昇と回収条件の見直し）による営業CF創出
- 財務健全性を維持しつつ、財務レバレッジを活用して資本のリターンを高め、成長投資や株主還元に充当

Cash-in

有利子負債活用
政策保有株縮減

240億円

営業CF

270億円以上

【在庫圧縮+回収条件見直し】

Cash-out

成長投資

150億円以上

基盤強化投資

160億円

株主還元

200億円以上

- 医療・電子材料関連 100億円
- 新規事業開発 50億円以上

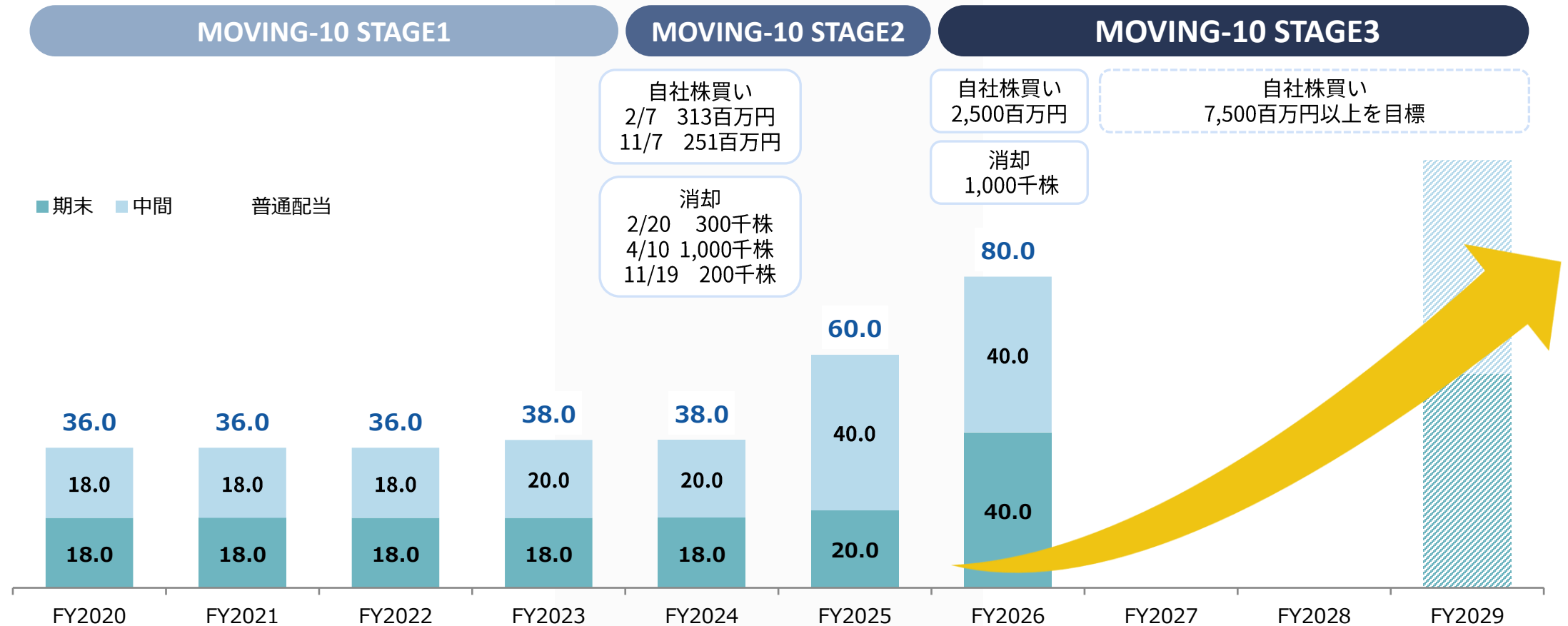
- 既存設備更新 140億円
- 基幹システム刷新 20億円

- 配当方針DOE 3%以上または
配当性向100%のいずれか高い方を基準
 - 自己株式取得100億円以上
(FY2026～FY2029合計)

株主還元方針

積極的、かつ安定的な株主還元を実施

- ①配当方針：DOE 3.0%以上または配当性向100%のいずれか高い方を基準に配当する方針
- ②自己株式取得：STAGE3期間中は、100億円以上を目標・資本効率の改善状況に応じた機動的な取得



人材重視による企業価値の向上

中長期的な成長と事業基盤を支える次世代人材を育成

社員エンゲージメントスコア



FY2023

62点

FY2025

65点

FY2029目標

71点

キャリア形成・成長促進

- **キャリア開発プログラム運用**
 - ・キャリアパス明確化
 - ・自律的キャリア形成
 - ・計画的な人材配置
- **社員タレントマネジメント活用**
 - ・多能化推進、組織活性化

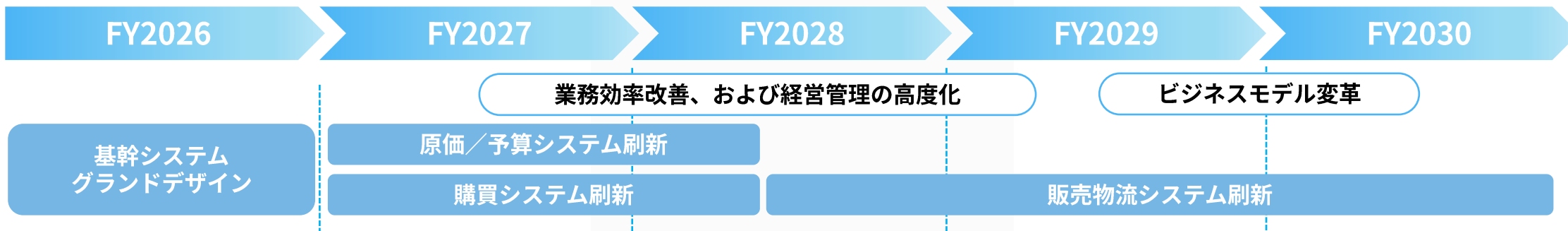
能力強化・働きがい創出

- **体系的な教育体制の再構築**
 - ・教育環境の整備、支援体制拡充
 - ・自発的学習による自己成長促進
- **育成強化**
 - ・社内プロジェクト参画、推進

システム・ESG

基幹システムの刷新

- STAGE3期間にシステム投資20億円を充当して、基幹システムの刷新を計画
 - ・原価管理・予算・購買システムの刷新【FY2028】
 - ・販売物流システムの刷新【FY2029】
- システム刷新による経営管理の高度化
 - ・原価・予算・購買・販物を一気通貫で刷新し、調達最適化と在庫適正化で運転資本の圧縮
 - ・内部統制と決算／計画のスピードを上げ、業務を標準化して成長に耐える基盤を構築



ESG

- GHG排出量削減
 - 二酸化炭素 (CO2) をはじめとする温室効果ガス (GHG) 排出量削減への取り組みを継続的に実施
- 外部評価機関 (Eco Vadis・CDP) の評価向上
 - グローバルサプライチェーンを通じて地球環境や社会に配慮した事業活動を推進することでCDPやEco Vadisなどの外部機関評価向上を計画

GHG排出量(千t)	FY2024実績	FY2030目標
Scope1&2 (42%削減)	214	124
Scope3 (25%削減)	394	295

外部評価		FY2025実績	FY2029目標
CDP	気候変動	B	A-以上
	水セキュリティ	B	B以上
Eco Vadis		65点	70点以上

今回のまとめ！

1

基盤事業の底堅さ
他にはない技術力

2

拡大する成長事業
積極的な広報

3

明確な資本政策
財務健全性



「ここから先は皆様と」

(参考) 2年間の株価推移

ご清聴ありがとうございました。

